

令和7年度の主な取り組み	概要等
1. 難再生古紙の資源化	令和7年5月より、資源化センター計量室にて回収を開始。回収した古紙は、多摩市リサイクル協同組合を通じて「社会福祉法人 共働学舎」にてトイレットペーパーへ再商品化する。令和7年度末まで実証実験を行い、回収状況などをまとめる。
2. 廃食油の資源化	令和7年5月より、市内6箇所で拠点回収を開始。東京都のS A F啓発事業に参画し、令和7年10月31日まで実証実験を行う。拠点での回収状況をまとめ、また東京都との連携を模索しつつ、市民に対して廃食油の再利用について啓発を進めていく。
3. 食品ロス削減に向けた取り組み (mottECOボックス普及推進事業)	飲食店等での食べ残しによる食品ロスを削減するため、食べ残し持ち帰りの普及・定着を図る「mottECO普及推進事業」を昨年度に引き続き実施する。 本事業は、多摩市も参加している産学官連携で活動を行う「mottECO普及コンソーシアム」が推進している食品ロス削減への取り組みについて、コンソーシアムの一員として情報交換を行なながら、自治体としてできることを進めていく。
4. 多摩市環境出前授業	様々な環境問題がある中、持続可能な社会を次世代に残していくためには、小中学生の時期に環境教育を受ける機会を確保し、環境問題を主体的・協働的に考え、行動する人材の育成に取り組むことが重要である。そこで、多摩市では、お笑い芸人の滝沢さんを招き、市内の小学校2校・中学校1校（予定）に出向いてごみの分別やリサイクルなどについての出前授業を実施することとする。滝沢さんによる講演会は、令和5年度に講演会、令和6年度には子どもたちを対象とした出前授業を実施し好評だったことから引き続き実施する。子ども達にも分かり易く、笑いに溢れ、心に残る楽しい授業を子どもたちに届ける。